

新闻热点 ニュースの言葉

“灾害预测地图” / “生命线 (城市基础设施)”
「ハザードマップ」 / 「ライフライン」

“灾害预测地图”

日本是一个地震、台风、暴雨等自然灾害较多的国家。特别是近年来，由于全球性的气候变化，被称为异常气象的天气日渐增多。在 2011 年遭遇到东日本大地震灾之后，接着是熊本地震，然后是给各地造成多重灾害的台风、暴雨等，连歇口气的时间都没有。去年 10 月，15 号、19 号台风相继登陆，侵袭了东海、中部、关东、东北等地区。洪水、砂石滑坡、风暴等造成的灾害遍及各地，还出现了很多伤亡人员。尤其是 19 号台风，因为这是迄今为止从未有过的大型台风，所以气象厅以及媒体等从很早以前就开始对其危险性进行反复报道。尽管如此，从结果看，还是出现了很多防不胜防的损害。

近年来，市民们对这些自然灾害已经习惯了，对自己家里可以做到的应对措施，比如风暴来袭、停电、停水等都做好了充分的准备。而且，与以前相比，从危险区域移动到避难所（灾害的危险解除之前居民们可以滞留的设施）的行动有提早的趋向。尽管如此，依然有居民对洪水、砂石滑坡发生的可能性认识不足，有一些人因避难不及时而受困。

这些提醒了我们，既然生活在一个自然灾害多发的国家，就有必要更加客观地对自己居住的地区事先有所了解。自己所居住的地方，在地理方面环境如何？附近有没有河川？有没有山脉或是

「ハザードマップ」

日本は地震、台風、豪雨など、自然災害の多い国です。特に最近は、世界的な気候変動で異常気象と言われる天候が増えています。日本では、2011 年の東日本大震災後も、熊本地震や各地での台風、豪雨による大きな災害が続き、ほっとする暇もありません。昨年 10 月にも台風 15 号、19 号がたて続けに発生し、東海、中部、関東、東北等を襲い、洪水や土砂崩れ、暴風による被害が各地でおこり、犠牲者もたくさん出ました。特に 19 号は今までにない大型の台風だったので、気象庁やマスコミなどからもかなり前から危険を知らせる報道が重ねられましたが、結果を見るとやはり避けきれなかった被害がありました。



最近では市民も災害慣れしてきて、自宅内の対策、例えば暴風策や停電、断水に備えた準備などはかなりしていたようです。また、危険地域から避難所（住民が災害の危険がなくなるまで滞在できる施設）への移動も、今までよりは早目に行われた傾向もあったようです。それでも、住民には洪水や土砂崩れの可能性は読み切れず、避難が遅れて巻き込まれた人々もいました。

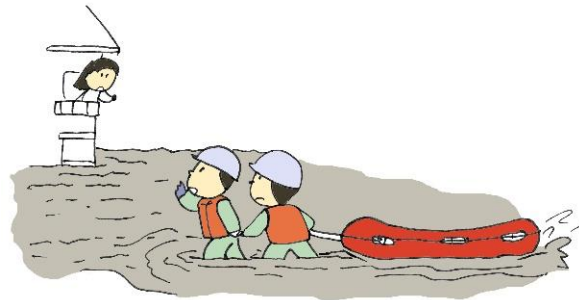
この自然災害の多い国に住むためには、もっと客観的に自分の住んでいる地域について前もって調べておく必要があるのだと、改めて思い知らされました。自分の住んでいるところは地理的にどんな環境なの

悬崖？海拔高度是高是低？一旦遭受暴雨等，安全性如何？像这样的信息如果能事先知道一些，一旦出现紧急情况，行动就有了指南。



这种为了保护居民的安全而制作的行动指南就是“灾害预测地图”。“灾害预测地图”是指通过地形、地质等预测出洪水、泥石流灾害等自然灾害危险程度大的地区，将其标明编制的一种地图。这种地图由国家、地方政府编制，尤其是由地方政府制作的地图，很多图上都标明了灾害发生时每个地区的避难所、供水处、医疗机关、灾害用卫生间的场所以及避难路线等。“灾害预测地图”，一半以上的地方政府编制，发放到各家各户或是公布在网页上（危险程度低的区域有的不制作这样的地图）。

这种地图由国家、地方政府编制，尤其是由地方政府制作的地图，很多图上都标明了灾害发生时每个地区的避难所、供水处、医疗机关、灾害用卫生间的场所以及避难路线等。“灾害预测地图”，一半以上的地方政府编制，发放到各家各户或是公布在网页上（危险程度低的区域有的不制作这样的地图）。



受 19 号台风的影响，许多河流泛滥，导致了大范围的洪水灾害。而这些洪水地区与事先制作的“灾害预测地图”中所预测的几乎完全一致。可以说“灾害预测地图”的可信度相当高。

然而，实际上在这次的台风中，还是有许多人没能及时避难，被孤立在水中。这也显示“灾害预测地图”并没有被充分有效地利用。即使是发生了异常状况，

か？近くに川はないか？山や崖はないか？標高は高いのか低いのか？いざ、豪雨等に見舞われた時、安全性はどうなのか？このようなことを前もって知っていれば、いざというときの行動の指針になります。

このような住民の安全を守るために作られたのが「ハザードマップ」です。「ハザードマップ」とは、地形や地質などから、浸水や土砂災害といった自然災害の危険性の高い地域を予測して作られた地図です。この地図は国や自治体が作成しており、特に自治体が作成するものには、災害時の地域の避難所や給水拠点や医療機関、災害トイレの場所や避難経路などを示してある場合も多いです。このような「ハザードマップ」は、半数以上の自治体で作成され、各戸に配布されたりウェブ上で公開されています（危険性の低い地域では作成されていない場合もあります）。

台風 19 号では多くの河川が決壊して広範囲に浸水しましたが、この浸水地域についても事前に作成されていた「ハザードマップ」の予測とほぼ一致していたとのことでした。「ハザードマップ」の信ぴょう性はかなり高いと言えます。

しかし、実際には今回の台風では多くの方が逃げ遅れ、水の中で孤立してしまいました。この「ハザードマップ」も生かされなかった点もありました。人間は異常なことが起きても「自分は大丈夫だろう」と思う心理が働くといえます。運良く難を逃れた人も、一つ一つの災害をしっかり自分への教訓として自覚していくことが大事でしょう。

以下、国土交通省が作成している「ハザードマップポータルサイト」を紹介しておきます。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/helpful07/index.html>

人们总会有“我不会有事的”侥幸心理。即使是幸运地躲过灾难的人，把每一次的灾害作为教训去认真反思，也是很重要的。

下面为大家介绍由国土交通省制作的“灾害预测地图门户网站”。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/helpful07/index.html>

首页上有“叠置式灾害预测地图”和“我们市区的灾害预测地图”。

在“叠置式灾害预测地图”上检索自己所在市区町的名称，该地区就会在图中显示出来。点击地图左上角“选择灾害种类”中想看的内容，是否受灾看颜色一目了然。种类分为“洪水/泥石流灾害/海啸/道路防灾信息”。

在“我们市区的灾害预测地图”上输入“都道府县名”“市町村名”检索，从表示该地区的四角形表中选择想看的内容（比如：洪水/泥石流/海啸等），预测状况会在地图上直接显示出来，有的会链接到各个地方政府的主页上。请大家试着确认一下自己所在地区的灾害预测地图吧！



“生命线（城市基础设施）”

灾害发生时，令人担心的是出现生活能源供给被中断、生活上必要的物品缺失这样的事。比如说：电力、自来水、燃气、用于获取信息的通信手段、用于移

このトップ画面には、「重ねるハザードマップ」と「わがまちハザードマップ」があります。



〈国土交通省 ハザードマップポータルサイト〉より

「重ねるハザードマップ」では、自分の住所を町名まで入れて検索すると、該当部分の地図が表示されます。地図が出たら左上の「災害種別で選択」の中から見たいものをクリックすると、予測される被害

の有無が色で表示されます。種別は「洪水/土砂災害/津波/道路防災情報」となっています。

「わがまちハザードマップ」は、「都道府県名」と「市町村名」を入れて検索すると、該当自治体が表示され四角い表から見たいもの（例えば、洪水/土砂/津波など）を選べると、直接地図が表示される場合もあれば、各自治体の HP の該当箇所に飛び場合もあります。皆さんも一度、自分の街のハザードマップを確認してみてください。



〈わがまちハザードマップ 東京都台東区（水害・中国語）〉より

動的交通工具、道路等，人类生存必须的东西叫“生命线（城市基础设施）”。“城市基础设施”缺失，也就意味着生命的安全受到了威胁，是非常严重的问题。每个人各自考虑应对措施诚然重要，为了解现状以及何时能恢复供应等而收集信息也是很重要的。大家可以通过电视、收音机、互联网以及所在地地方政府灾害专用的广播等获取信息，也可以在避难所等场所得到相关信息。

下面是国土交通省的“防灾门户网站”。在网页上端的语言按钮中可以选择中文。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/>

在这里，可以看到最新的城市基础设施的情况（电力、燃气的状况；供水方面受灾状况；停电信息、通讯故障信息等）。此外，也可以查阅各个地方政府的网站。有的地方政府还有多语种对应服务，请平时留心查阅一下吧！

还有一个让人意想不到、更为方便的信息源是 SNS 的推特，因为许多人都在随时随地发布当地的状况，所以它成为获取周边信息的一种手段。不过，由于推特大多是个人推送的信息，因此其中也包括了一些不确切的内容，浏览时有必要确认发信源，谨慎利用。



「ライフライン」

災害時に心配なのは、生活するのに必要なものが供給されなくなったり、失われてしまうことです。例えば、電気、水道、ガス、情報を入力するための通信手段、また移動を行うための交通機関や道路、これら人間が生きるために必要なものを「ライフライン（生命線）」と言います。このライフラインが失われるということは、命の危機にさらされるということで非常に重大なことです。自分で対策を立てておくことも大事ですが、現状の確認やいつ復旧するかなどの情報収集も大事でしょう。テレビやラジオ、またネットや自治体の災害用の放送、また避難所などでも情報が手に入ると思います。

以下の URL は、国土交通省の「防災ポータル」です。サイト一番上の言語ボタンで、中国語を選ぶこともできます。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/>

ここでは、最新のライフライン状況（電気・ガスの状況、水道の被災状況、停電情報、通信障害情報等）についてみる事ができます。また、各自治体の HP もチェックしましょう。自治体でも多言語対応しているところもありますので、日頃から調べておきましょう。

意外に便利なのは SNS のツイッターで、いろいろな人がリアルタイムな地元の状況等をつぶやいているので、より身近な情報を得る手段にもなります。しかし、これは個人発信が多いので間違った情報も含まれる場合がありますので、発信元を確認しながら注意して利用する必要があります。

(B)

